

学会完結ノート

演目 特別講演Ⅲ

「医療者が本質行動学をどの様に咀嚼し、複雑系の事象の多い患者さんのリハビリに質的研究をどの様に用いて行くべきか」

講師：西條剛央先生

本質行動学の理論的枠組みは何か？

どのような研究・臨床へのメッセージがあったのか？

なぜ、理学療法の学術大会に、本講演が組みこまれていると考えるか？

本講演から得られた、最大の気づきやひらめきは何か？

あなたの明日からの臨床や研究にどのような影響があるか？